

8 月に行われた SSH 事業についてお伝えします。

「オープンキャンパス」

8 月 1 日（土）、小学生対象オープンキャンパスを開催しました。今年度は趣向を凝らし、体験的活動ができる 6 つのブースを用意しました。

科学部は、2 ブースを担当し、ブース①では、紫キャベツの色素を指示薬として、身の回りにある液体を色の変化にて、酸性・中性・アルカリ性に特定していく体験を提供しました。ブース②では、水の中を進む光の性質を利用した科学工作「簡易透明骨格標本」を作製しました。

また、生物部ブースでは、湯梨浜学園で飼育している動物やスクールドッグにふれあえる体験をしました。スクールドッグやウサギ、チンチラ、デグーなどに直接さわること、笑顔になってもらいました。（本校では、心のケアや癒やし、命の尊さを学ぶ教育的効果を期待して複数の動物を飼育しています。）

その他、書道部、剣道部、クイズ研究会など、本校在校生が参加者の皆さんのナビゲーターとして活躍してくれました。おかげさまで、昨年度の人数を超える 60 家庭以上の皆様にお越しいただきました。引き続き、SSH 事業にて培った知識や技術を地域に還元していきたいと思ひます。



「企業訪問プロジェクト」

中学 1 年生は、8 月 17 日（月）に企業訪問プロジェクトを実施しました。はじめに「大山乳業 農業協同組合牛乳・ヨーグルト工場」を訪問しました。酪農専門農協の仕組みを学んだあと、搾乳から殺菌、検査を経て出荷を迎えるまでの工程を、工場見学を行いながら学びました。

その後「サントリー天然水奥大山ブナの森工場」にて研修を行いました。鳥取県が誇る大山の豊かな自然ときれいな水を守り続けるための取り組みや、「サントリー天然水」がどのようにしてできているのかを知ることができました。また、各地の工場の天然水の飲み比べを体験し、その土地の持つ自然の特徴を知ることができました。



生徒は、「大山乳業、サントリーとどちらも単に水を作る、製品を作るだけではなく、自然環境を守るために努力されていることを学ぶことができた。より一層自然保護の大切さを感じることができた。」と振り返りました。地域の課題解決に向けた科学的探究心を育むことができた研修となったようです。